

平成25年8月30日

魚沼市議会議長 浅井守雄様

庁舎再編整備特別委員会
委員長 森山英敏

庁舎再編整備特別委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 今後の委員会活動について
(2) その他

- 2 調査の経過 8月30日、委員会を開催し、上記事件について協議した。
委員長が庁舎再編整備の今までの経過について説明し、次いで、
執行部より、現在の考え方について説明を受け、質疑を行った。

庁舎再編整備特別委員会議録

1 調査事件

(1) 今後の委員会活動について

(2) その他

2 日 時 平成25年8月30日 午後2時

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 岩井富士夫、佐藤敏雄、岡部計夫、星吉寛、下村浩延、森山英敏、大屋角政
(浅井守雄議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 酒井企画政策課長

7 書 記 小幡議会事務局長、和田主任

8 経 過

開 会 (14:00)

森山委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから庁舎再編整備特別委員会を開会します。第2回目の当委員会になりますが、現在のところ、執行部から特別の方針が出てはおりませんが、今までの経過を踏まえた中で、今後の委員会活動をどうやっていくのか皆さんから議論していただきまして、今後の委員会活動につなげていきたいと思っておりますので、活発なご意見をお願いしたいと思います。

(1) 今後の委員会活動について

森山委員長 日程第1、今後の委員会活動についてを議題とします。前議会の特別委員会からの最終報告を配付しております。これを私の方でまずは朗読させていただきます。(「庁舎再編整備調査特別委員会の調査報告書を朗読」)今議会の委員会では、前議会での調査のまとめを尊重し、かつ、これまでの経緯及び今後の市の活動を見据えながら、本委員会の目的であります、当市の地域特性を考慮し、市民の利便性、行政効率の向上を図る庁舎整備を検討するため、調査活動をする中で検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいいたします。お手元にある資料は、私の方で今までの経過が少しでも皆さんに分かりやすくするために、以前の資料を事務局に求めました。これについては、当局に質疑をしても、答えられる分と答えられない部分があるかと思いますが、その辺はご理解の上、質疑を願いたいと思っております。私の方で今までの経過について大まかに説明させていただきます。

(庁舎再編整備の経過について説明) それでは、資料に対する質疑はありませんか。(なし) なければ、執行部として、現在新庁舎に係る部分で公表できる部分、確認されている部分について当局に説明を求めます。

酒井企画政策課長 執行部としましては、まだ、具体的な方針は出しておりません。今年度の早いうちに、庁舎の一本化の方針を進めなければならないと思っておりますので、一本化について、どのような方法で、いつ頃にそういう方針を出すかということは今検討を始めたところです。これから、市民を交えて検討していくのかというようなことも含めた中で決めていくということですので、一本化について、どういう方向でいつにするかは、これからの話になります。まだ、そこまでの段階です。

森山委員長 今の課長の発言について質疑はありませんか。

佐藤委員 アンケート調査を実施しているかと思いますが、その集計はいつ頃できて、どのように反映されるのでしょうか。

酒井企画政策課長 単純集計の結果はこちらの方には届いております。内容について、今確認をしております。その後、決済を得てからになります。今定例会の中で報告をさせていただきますと思っています。

岩井委員 私は、実は、議員になる前に庁舎再編検討委員会という会に入らせていただいております。各庁舎を全部回って一部屋一部屋も確認をさせていただきました。そこでは、新しい庁舎をつくるのか、あるいは、今の既存の庁舎でやるのかという話は結論的にはまだ出ていなかったのですが、先ほど委員長から話があったように、大平市長が誕生した選挙のときに、それまでは恐らく、ひとつの市のシンボルとして、新庁舎をつくらうという動きがあったと思うのですが、選挙の争点で、新庁舎をつくるかつukらないかということになって、市民はつukらない、ノーということで答えを出して今の市長が誕生したと思うのですが、私はその方向からいったら、市民の過半数以上の人達がそういう意見を今でも持っていると思います。今既存の庁舎をどう利用するのか、それに対して、必要であれば増築も可能だと思いますが、その辺の議論を重ねていった方がいいのではないかと思います。

佐藤委員 今のことは、第1期目の大平市長の選挙での話だと思うのです。先般、2期目の選挙を受けての発言はニュアンスが違っているのではないかと思います。私、個人的な意見としては、やはり新しい庁舎をつくって、儉約できるところは儉約して、職員の数を減らしながら、そこで合理的に仕事をしていった方が、将来的にはプラスになると思っています。ただ、それをする前提として、既存の庁舎をいかに活用していくか、それを並行していかないと、非常に、後で問題が出てくると思いますので、その辺を含めた中で、ただ、この特例債の関係もありますので、できるだけ早い機会に進んでほしいと思います。

森山委員長 市長の選挙公約といった部分で、最初はつukらないという形が、市民の大多数の意見だということの中で、それを受けて当選されたという話がありました。2回目の選挙ではニュアンスが相当かわってきているという意見がありましたが、それについて、公式見解として、今、市長部局としてどういったスタンスになっているのでしょうか。

酒井企画政策課長 市長の一般質問の答弁の中で、今は、つukらないとは多分言っていないと私は理解しております。優先順位に問題があったりすることや、新庁舎を否定するわけではないということをおっしゃるので、今後の話の中で、いろいろな角度からやはり

検討する必要があるのではないかと考えております。

森山委員長　特例債の関係で検討している部分がありましたら、説明をお願いします。

酒井企画政策課長　特例債の関係についても、今回の定例会の中で、アンケートと一緒に報告させていただこうと思っていたわけですが、基本的には、5年間の延長をしたいということで、今準備を進めております。

岩井委員　5年間の延長の可能性はどうでしょうか。

酒井企画政策課長　可能性はありますので、検討、協議しながら進めたいと考えております。

下村委員　今の現状を見ますと、給与はカットしないで人数を減らしてやっていますが、非常に無理がある課があるようです。特に税務課の3月、4月。それから、市民課も大体同じです。無理があるとミスも出てきます。それから、費用の面でも、6庁舎ということで、かなり無駄が生じています。近隣と比較してみると、決算の項目も違いますし、間違っているかもわかりませんが、市民一人当たりの庁舎の維持管理経費が大体魚沼市で、2,300円か2,400円。それから、南魚沼市で1,500円弱。小千谷市で1,000円くらい。これは比較にはならないかわかりませんが、そういう状況もあります。公用車も非常に多く無駄がでています。修理についても毎年修繕料がかかります。そういった面で一本化した場合と今のままで継続した場合のどのくらいになるかというのは、出せませんが、そういった、無駄もありますので、早めに新庁舎を建設して、職員の意思疎通がしっかり図られる体制を整えていくことが大切だと考えております。

森山委員長　しばらくの間、休憩します。

休　憩（14：21）

休憩中に懇談的に意見交換

再　開（15：14）

森山委員長　休憩前に引き続き会議を再開します。休憩中に各委員からいろいろなご意見をいただきました。今、一本化ということで、新築、もしくは、既存庁舎、一本化するという方向では流れはできておりますので、その方向でいった場合に経済的なメリット、デメリットがあるのか、そうした場合に、既存庁舎をどう活用していくのか、この調査研究をまずさせていただきたいなと考えております。そのために、当委員会として、もし、同じような問題を抱えていて、解決したような市がありましたら、視察等も考えた中で進めていきたいと考えております。何とか、特例債が5年延長となりましても、トータルでも6年しかありません。議会もそうですが、当局とも話をした中で進めていかないと、合併特例債が使えない状況になりますので、その辺を考えますと、早めに議会としても、一生懸命検討していきたいと思っておりますので、各委員からも協力、助言をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

（2）その他

森山委員長　日程第2、その他を議題とします。何かありましたらお願いします。

大屋委員　次の委員会はいつごろになるのでしょうか。

森山委員長　次に委員会を開催するということになると、9月定例会が終わってからになると思います。ほかにありませんか。(なし)なければ日程第2はこれで終了します。本件につきましては、本日はこの程度といたしまして、引き続き調査をしていくこととし、以上で閉会とさせていただきます。本日の会議録の調製については、委員長に一任願います。本日の庁舎再編整備特別委員会は、これで閉会します。

閉　　会（11：26）